



◇札幌市の成果と課題を踏まえ、以下の3点を重視して学校での学びを改善していく必要がある。
○子どもが、学ぶことの意義や楽しさを感じ取り、自ら学び続けようとする意欲をもつこと。
○子どもが、自ら考えたり表現したりするなどの多様な学びを経験し、思考力・判断力・表現力等を身に付けること。
○子どもが、学び続けるための基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、新たな学びに自信をもって挑戦していけるようになること。

◇学校での学びの質を高め、家庭と一体となつて「学ぶ力」を育むことを目指して、さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プランを実施する。

令和4年度 さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン

「札幌市教育振興基本計画」(平成26年度～)に位置付けて推進

◆分かる・できる・楽しい授業づくりの充実

「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実

○自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する「課題探究的な学習」を取り入れた授業の工夫改善を図る。
*「6つのセルフチェック」の活用による授業づくりの充実
*小学校5・6年生算数における少人数指導「算数に—こ—プロジェクト事業」の実施

学ぶ意欲の向上

知識の理解の質を高め、
資質・能力を育む
主体的・対話的で深い学び

*言語活動や体験的な活動等の充実
*ICTを活用した学習活動の充実

「自分への自信につながるきめ細かな指導」の充実

○基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、子どもが分かる・できる喜びを実感できるよう、**個に応じた指導の充実**を図る。
*生きて働く知識・技能の習得に向け、知識・技能の活用場面を位置付けた授業の充実
*一人一人のよさや伸びを認める指導と評価の一層の充実

5つのポイント

- 1 難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。
- 2 「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようになります。
- 3 意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。
- 4 自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようになります。
- 5 生活を自らコントロールする力を育みます。

各学校が「学ぶ力」育成プログラムを改訂し実行

○各学校が、自校の子どもの「学ぶ力」の実現状況を踏まえて、指導方法等の課題を明確化し、改善に向けて作成したプログラムの改訂、実行に取り組む。(教育課程等への位置付け、指導方法の改善など)

具体的な改善策について
教育委員会が支援

教員の指導力向上
に向けた施策

札幌市教育課程編成の手引の活用
○学習指導要領の趣旨及び小中のつながりを踏まえた授業改善の推進

幼小中合同教育課程研究協議会等
○学習指導要領の実施を踏まえた教育課程や授業の在り方を協議

札幌市教育研究推進事業
○分かる・できる・楽しい授業に関する研究の推進
○学習指導要領の実施に向けた研究の推進

札幌市教員研修計画に基づいた研修
○授業づくりに関する研修の充実

◆包括的重点における「学ぶ力」の育成

「小中一貫した教育」の推進(校種間連携)

○系統性・連続性のある「課題探究的な学習」の充実
・パートナー校連携による協働的な授業改善や授業像の一貫性
・指導内容の系統性・連続性を重視した教育課程の工夫改善
・「学ぶ力」育成に向けた取組の成果と課題の共有
・授業改善の視点からの授業交流や合同研修会の実施
・小中一貫した教育グランドデザインの活用



ICTを活用した教育の推進(情報教育)

○ICTの効果的な活用による「課題探究的な学習」の充実
・学習ツールとして授業や様々な教育活動で学びの質を高める活用
・ICTの特性や強みを活かし、思考を深める学習の過程を重視した個別最適な学びと協働的一体的な充実
・プログラミング的思考及び情報モラルを含む情報活用能力の育成
・端末の持ち帰り等による授業と家庭学習の接続と習慣づくり

さっぽろっ子「学び」のスズメの活用

学校・家庭・地域の連携・協働

○家庭や地域への情報発信の充実
※「社会に開かれた教育課程」の理念に基づき、家庭や地域との共通理解のもとで「学ぶ力」の育成に向けた取組を推進
・各学校の取組状況についての情報発信の充実
・札幌市PTA協議会をはじめとする関係機関との連携

学校・家庭・地域をつなぐ さっぽろっ子 三つの「スズメ」



三つの「スズメ」を活用し、学校・家庭・地域が連携・協働して、子どもを支える「環境づくり」「習慣づくり」を推進できるよう、子どもへの働きかけ等を具現化して発信していく。

校長会との連携・協働

○双方向による「学ぶ力」の育成
※校長会との多様な機会における双方向の連携を強化
・各区の研修会等への指導主事の派遣
・各学校の研修会等の充実

(その他)
学生ボランティアの活用などの環境整備

改善

検証改善

検証改善サイクルの確立

評価

◆子どもの自己評価を生かした「学ぶ力」の評価と指導の改善

○教育施策や教育指導の改善に反映するため、札幌市全体の共通指標を設定し、「学習などについてのアンケート」と「ICTの活用についてのアンケート」として実施することで、子どもの学習やICTの活用状況等を把握するとともに、各学校で調査結果を子どもや家庭と共有し、活用するなどの取組の充実を図る。

札幌市学校教育の重点の基盤 人間尊重の教育

子ども一人一人が自分が大切にされていると実感できる学校づくり

さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐとともに、子どもの権利を大切にすることです。



子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。
学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める
共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり



札幌市教育委員会

まほうのかいわを合言葉に「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくり！

学校

連携

家庭

大切なポイント

意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。

「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようになります。

自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもうてるようにします。

生活を自らコントロールする力を育みます。

難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。

子どもが自分で決めることを**促す**ためには？

「～について、目指したいことは何？」
「～を頑張ったら、どんな自分になれると思う？」
「自分で決めることが大切。自分で決めるまで待ってるよ。」
「～しなさい」メッセージより、「背中を押す」メッセージを！

子どもの伸びを**認める**ためには？

「漢字をこんなに書けるようになっていて、感心したよ。」
「毎日、縄跳びを頑張っている姿が見られて、うれしいな。」
「お手伝いをしてくれて、ありがとう。」
「YOU」メッセージより、「I」メッセージを！
※「I」メッセージ＝「私」を主語にしたメッセージ

子どもの継続した取組を**支える**ためには？

「学校でどんな勉強をしてきたの？一緒に振り返ってみようか。」
「休みの日は、一緒にストレッチやウォーキングを試してみようか。」
「早起きできるようになる方法を一緒に考えてみようか。」
「～続けなさい」メッセージより、「一緒に」メッセージを！

コロナ禍で子どもの「心と体」、「学び」を**守る**ためには？

「ちょっとイライラしているかな？一緒にストレス発散しようか。」
「家でもできる運動を一緒に考えて、続けてみようか。」
「思ったとおりにいかないこともあるよね。またやってみよう。」
「できない」メッセージより、「安心できる」メッセージを！

ま
学んだことを一緒に振り返りましょう。

ほう
方法を一緒に考えましょう。

の
伸びを認め、ほめましょう。

かい
改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。

わ
わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。

これからの一年間、家でがんばりたいことは…



一年間を振り返って、励ましの言葉



さっぽろっ子 ICT活用のススメ



1人1台端末を授業と家庭学習のかけ橋に

「学ぶ力」を育成するために1人1台端末を活用します。子どもが自ら考え、理解し、深い学びへとつなげていけるよう、学校で、家庭で、適切かつ効果的な端末の活用を促していきましょう。

「学ぶ力」の育成

「課題探究的な学習」

の推進

対面の授業を中心としながら、端末を有効活用し、仲間との学び合いも取り入れた、一人一人に適した学習を進めます。

家庭での運動習慣づくりによる「健やかな体」の育成にも生かれます。

協働的な学び

個別最適な学び

主体的な
学び

「情報活用能力」

の育成

端末の活用を通して、情報を適切に収集・整理・分析・発信できるようになる力を育みます。

登校できない場合でも先生や友達とつながることで「豊かな心」の育成にも生かれます。

ICT活用のまほうのかわいで

学校と家庭のつながりを大切に、互いが同じ目線に立って連携・協働しながら、子どもを見守り、育みます。



札幌市教育委員会



さっぽろ市
02-S02-21-2316
R3-2-1461

大
切
な
5
つ
の
ポ
イ
ン
ト



学校

協働的な学びと
個別最適な学びの充実

安心・安全で
効果的な活用

自己調整に生かす
学習履歴

ICTの
特性や強みを生かす

主体的に学習に
取り組む態度の育成

ICT活用の

まほうのかいわ

ICT活用も習慣づくりが大切です



家庭

ま 学びにつなげる

ほう 方法を考える

の 残して振り返る

かい 解決する

わ 分かる・できる・楽しい

ICTを活用した学習が、多様な他者と協働しながら考えを深める学びや、子どもにとって自分にふさわしい学びとなっているかどうか、家庭で話題にしてみましょう。

使用時間など健康に配慮した使い方や、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度（情報モラル）を身に付けられるよう、子どもと話し合しましょう。

端末を活用した学びの記録を子どもと一緒に振り返りながら、伸びを認めるとともに、つまづいているところがあれば、どのように改善を図っていくのか、一緒に考えましょう。

必要な情報を幅広く集め、分析したり、意見の即時共有を図ったりするなど、ICTの特性や強みを生かすことで、子どもが疑問や課題を自ら解決していけるよう促しましょう。

ICTを活用して、子どもが試行錯誤しながら粘り強く取り組み、「分かる・できる・楽しい」学びにつなげていけるよう、学校と家庭の連携・協働を深めていきましょう。

学校では主にこんな端末を使用しています。

クロームブック
機種名：**Chromebook**
OS名：Google chromeOS端末

CPU：Intel(R) Celeron(R)
N4020CPU@1.10GHz

メモリ：4GB
画面サイズ：11.6型
キーボード：有

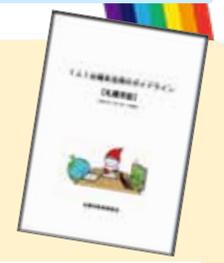
年度初めに、学校から配付される書類等は保護者と子どもが一緒に確認をしましょう。

端末を家庭に持ち帰っての活用も行います。ネットワーク環境の整備等の確認をしていきましょう。



札幌市ホームページにも掲載しています。
「ICTを活用した教育の推進」

- 1人1台端末活用のガイドライン【札幌市版】
- 1人1台端末活用リーフレット
- 1人1台端末活用の基本的なルール
- アカウント、端末を安心・安全に使うためのチェックポイント（確認書）
- 札幌市立小中学校等における情報端末貸与規程
- 札幌市立小中学校等端末貸与申請兼同意書
- 家庭のWi-Fiに接続する方法
- GIGAスクール通信



さっぽろっ子 小中一貫したつながりのススメ



「小中一貫した教育」は、札幌らしい「教育のススメ方」です。

小学校と中学校が互いにつながり、学び合いながら、学校・家庭・地域が互いにつながり、同じ目線に立ちながら、途切れることなく、全ての子どもに寄り添い、見守り、育みます。

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できるように。



学校・家庭・地域のつながりの中で、連続性をもって子どもを育みます。

さっぽろっ子「学び」のススメによる一貫した習慣づくり

9年間の**学び**をつなげます

分かる・できる・楽しい授業による連続性のある教育の推進

子どもの**育ち**をつなげます

小・中の指導のよさを取り入れた切れ目のない子どもの育ちの支援

4つの視点から札幌らしい教育を進めます

互いの顔の見える関係づくりによる小中の教職員の連携の強化

目指す子どもの姿の共有などによる地域とともにある学校づくりの推進

小中の**教職員**がつながります

学校・家庭・地域がつながります

札幌市では、令和2年2月に「札幌市小中一貫した教育基本方針」を策定しました。詳しくはこちらを御覧ください。



札幌市教育委員会



学校・家庭・地域が互いにつながり、

まほうのかわで

9年間の系統性・連続性のある教育を実現し、子どもの知・徳・体の調和のとれた育ちの一層の充実を図ります。

小中一貫した教育 グランドデザイン

それぞれのパートナー校が、地域の実態等を踏まえ、何を大切に、どのようなことに取り組むかなどを分かりやすくまとめる全体構想です。これに沿って、「小中一貫した教育」を進めます。

それぞれのパートナー校では
小中一貫した教育の進め方を
グランドデザインに表します。



グランドデザインを活用しながら、
具体的に取組を進めます。

地域の願い
目指す子ども像
推進計画
具体的な取組



重点や取組が伝わるよう、
それぞれに工夫を凝らして
グランドデザインを作成し
ています。

小中一貫した教育 Q&A



「小中一貫した教育」が始まると、何が変わるの？

小学校と中学校がつながりを深め、一貫性・連続性をもって、学習指導や生徒指導などに取り組むことで、子ども一人一人をより大切にしたい教育が期待できます。



「小中一貫した教育」って、小中一貫校を建てることではないの？

「小中一貫した教育」は、校舎のことではなく、全ての市立小・中学校で行う、義務教育9年間の一貫性・連続性ある教育の進め方です。



札幌市における
義務教育9年間の
設置方針



様々な校区や校数のパートナー校があるけど、どこでも取組は進むの？

どのパートナー校でも、全市共通の柱である授業改善や子ども理解の取組を進めます。パートナー校の中学校に進学しない場合も、子どもが安心できるよう、進学先の中学校とも連携をしていきます。



中学校区 パートナー校 一覧

令和4年度現在

「パートナー校」とは、中学校区ごとに設定した「小中一貫した教育」を推進する基本単位です。必要に応じて、近隣の学校とも、これまで同様に連携をします。



札幌市立学校
ネットワーク



中央区
柏中 山鼻小 幌南小
中央中 中央小
中島中 資生館小
啓明中 二条小 緑丘小
向陵中 円山小 宮の森小
伏見中 幌西小 伏見小
宮の森中 盤溪小 大倉山小 三角山小
山鼻中 山鼻南小
陵北中(中) 桑園小 日新小 二十四軒小(西)

北 区
北辰中 北九条小 幌北小 白楊小
新琴似中 新琴似小 新琴似北小 新琴似南小
篠路中 篠路小 拓北小
北陽中 和光小 新陽小 北陽小
新琴似北中 新琴似西小 新琴似緑小
新川中 新川中央小
光陽中 光陽小
太平中 太平小 太平南小
屯田中央中 屯田南小 屯田西小
篠路西中 茨戸小 篠路西小
新川西中 新川小 新光小
上篠路中 百合が原小
あいの野中 鴻城小 あいの野西小 あいの野東小
屯田北中 屯田小 屯田北小

東 区
美香保中 北光小 美香保小
北栄中 北小 北園小
札幌中 札幌小 伏古小 伏古北小
福移中 福移小
東栄中 本町小 東光小 苗穂小
明園中 明園小
栄中 栄北小 栄東小 栄緑小
札幌中 札幌小 東苗穂小
栄南中 元町北小 栄南小
元町中 元町小 開成小
丘珠中 丘珠小 中沼小
栄町中 栄小 栄西小 栄町小
札幌北中 札幌北小 札幌緑小

白石区
幌東中 東橋小 上白石小 幌東小
白石中 南郷小 南白石小
日章中 東札幌小 西白石小 東園小(中)
柏丘中 本通小 平和通小 白石小
東白石中 大谷地小 本郷小 東白石小
北白石中 北白石小 北郷小
北都中 北都小 川北小 東川下小
米里中 菊水小 米里小

厚 別 区
信濃中 信濃小 厚別西小
もみじ台中 もみじの森小 もみじの丘小
青葉中 新札幌わかば小
厚別中 小野幌小 厚別東小
厚別南中 共栄小 大谷地東小 ひばりが丘小
上野幌中 ノホロの丘小
厚別北中 厚別北小 厚別通小

豊 平 区
八条中 豊平小 みどり小 旭小
月寒中 月寒小 豊園小
平岸中 平岸西小 平岸高台小
陵陽中 東山小 美園小
羊丘中 南月寒小 福住小
東月寒中 羊丘小 しらかば台小
西岡中 西岡南小
中の島中 平岸小 中の島小
西岡北中 西岡小 西岡北小
あやめ野中 月寒東小 あやめ野小
日章中(中) 東園小 東札幌小(中) 西白石小(中)

清 田 区
清田中 清田南小 清田緑小
北野中 北野小 北野平小
平岡中 清田小 平岡南小
北野台中 北野台小
真栄中 有明小 真栄小 美しが丘小 美しが丘緑小
平岡中央中 平岡小 平岡中央小
平岡緑中 三里塚小 平岡公園小

南 区
藻岩中 藻岩小 藻岩北小 北の沢小
石山中 石山緑小
定山溪中 定山溪小
簾舞中 簾舞小
常盤中 芸術の森小
真駒内中 駒岡小 真駒内桜山小
澄川中 澄川小 澄川西小 澄川南小
真駒内曙中 南小 真駒内公園小
藤野中 藤の沢小 藤野小 藤野南小
南が丘中 南の沢小 藻岩南小

西 区
琴似中 琴似小 山の手小 山の手南小
陵北中 二十四軒小 桑園小(中) 日新小(中)
八軒中 八軒西小 八軒北小
手稲東中 手稲東小 西園小
発寒中 発寒西小 発寒南小 西小
西陵中 発寒小 発寒東小
西野中 西野小 西野第二小
八軒東中 琴似中央小 八軒小
宮の丘中 手稲宮丘小
福井野中 福井野小 平和小

手 稲 区
手稲中 手稲中央小 富丘小 西宮の沢小
手稲西中 手稲西小
稲陵中 手稲山口小
前田中 手稲鉄北小 前田小 前田中央小
稲積中 稲積小 新発寒小
稲穂中 稲穂小
新陵中 新陵小 新陵東小
前田北中 前田北小
星置中 手稲北小 星置東小

※記号は、「小中一貫した教育」グランドデザインの完成時期を表しています。

…令和3年度末までに完成

…令和4年度末までに完成



さっぽろ市
02-S02-21-2315
R3-2-1460